

飲水思源

町長 松岡市郎

「ボランティアアカ」が町の元気を支える

国際写真フェスティバルが始まった20年以上も前の話である。当時、担当の職員は10年経つとまち中には駐車できないくらいに車で溢れ、相当なぎわいができる、と胸を張って語っていた。時期をほぼ同じくして、キトウシのくらしフェスティバルもスタート。その後、キトウシは大変なぎわいとなり、職員とは「なぜ、キトウシのようにぎわいをま

ち中に起そうとしないのか」などと議論したものだ。時が経ち、どんとこい祭りや写真甲子園が加わり、当時の夢が実現に向かっている。

今年の写真関係など一連のメインイベントは、最終日がいにくの雨で残念であった。しかし前夜の花火大会などは、車と人、「人、人、人」でぎわっていた。当初の熱い気持ちがいイベントに携わる者に引き継がれ、それぞれの分野での力が結集して相乗効果を発揮して大きなパワーと魅力となり、目標に近づいている。

「やれば出来る」という自信がベースにある。また東川町の行政区域を超えて、本州や旭川市、美瑛町、上富良野町からも生徒、学生、個人、あるいは企業が参加し、イベントを盛り上げていただいた。この相乗効果、元気の源は「ボランティアアカ」である。このイベントに何らかの形でかかわったボランティアは、町内外約900人、延べ人数で2千人にも及ぶ。暑い夏、これらの方々が裏方で頑張っているの、全国に誇るイベントが展開できるのである。3月にいただいた文化庁長官表彰の受賞事由の大きな要因の一つであり、ありがたいことだ。まさに「対話、調和、支え合いの輪」の「3つのワ」の結晶である。

忠別湖でトライアスロン大会が開催された。4回目であったが、参加者は年々増えている。この大会も医師、看護師、自衛隊員や地元住民など、多くの幅広いボランティアの方々によって運営されている。特に目を引いたのは、小、中学生がボランティア参加していたことである。最終種目であるラン(走り)では、選手への水分補給で「水です」「塩です」「スポンジです」などと大きな声を出して選手を支えていた。実に生き生きと誇りを持って参加しているようであった。地域の人々から引き継いだボランティア精神を確実に発揮していると感じ、町の将来に向かって大きな元気をちょうだいした。

ボランティアアカが町を動かしている。「ありがとう」と拍手を送ろう。

文化交流館 新刊図書・ビデオ 案内

貸し出し期間は、図書は1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間です。返却期間を守りましょう(夜間返却窓口もご利用ください)。

★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています

文化交流館では、図書室に所蔵されていない本や映画DVDのリクエストを随時受け付けています。ご希望の本、映画DVDがありましたら、司書カウンターに備え付けてある申し込み用紙に名前をご記入の上お知らせください。ご希望の図書は新たに購入、または他地域の図書館から取り寄せ、できるだけ迅速に対応します。ただし映画DVDは、著作権の関係上すべてのご要望に応えられない場合がありますのでご了承ください。調べもの、図書室に関する質問もお受けしています。交流館職員までお気軽にご相談ください。



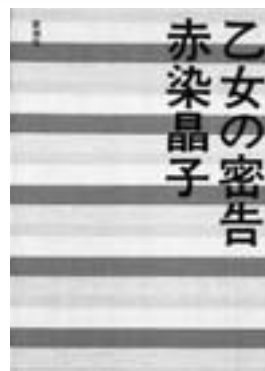
カールじいさんの空飛ぶ家
(アニメ、DVD)
ウォルト・ディズニースタジオ

幼なじみで最愛の妻エリーに先立たれたカールじいさんは、いつか南米のパラダイスの滝へふたりで一緒に行く、という子供のころからの約束を果たすため、住みなれた家に無数の風船を結びつけて大空へと飛び立った。偶然空飛ぶ家に乗り合わせた少年ラッセルと南米にたどり着くが、そこには思いもよらない冒険が待っていた。(96分)



こぐまくん、ないしょだよ(絵本)
ふくだじゅんこ/作 大日本図書/刊

きつねくとねこくんは、遊んでいてお姉さんのお人形をこわしてしまいました。それを見ていたこぐまくんに「だれにもいわないで。ないしょだよ」とふたりは口止めします。こぐまくんは、家に帰る途中に出会ったうさぎさんや、かばさんにうっかり言ってしまうそうなるのがまんして…。へとへとになったこぐまくんは…。



乙女の密告(一般書)
赤染晶子/著 新潮社/刊

京都の大学で、「アンネの日記」を教材にドイツ語を学ぶ乙女たち。日本式の努力と根性愛するパッハマン教授のもと、スピーチコンテストに向けて「一九四四年四月九日、日曜日の夜」の暗記に励んでいる。ところがある日、教授と女学生の間に黒い噂が流れ…。言葉とアイデンティティーの問題をユーモア交えて描く。第143回芥川賞受賞作品。